

完了後の評価個表

整理番号	6-1
------	-----

事業名	民有林補助治山事業 (地すべり防止)	都道府県名	千葉県						
事業実施地区名	下沢(しもざわ)	事業計画期間	昭和52年度～平成17年度(29年間)						
関係市町村名	富津市	事業実施主体	千葉県						
完了後経過年数	5年	管理主体	千葉県						
事業の概要・目的	<p>当地区は、富津市役所から南東に17km離れた富津市山中地内に位置する地すべり地帯であり、昭和40年頃から地すべりによる市道、耕作地等への被害が発生していたことから、地元からの要望に基づき昭和52年に面積172.03haを地すべり防止区域に指定し、事業に着手したものである。</p> <p>当該地すべりは小さく浅い地すべりブロックが多数存在していることに特徴があり、地すべりの安定化を図るため暗渠工でブロック内の地下水を排除するとともに、地すべりにより脆弱になっている地盤が豪雨等により浸食され土砂流出が発生するのを防止するため溪間工を施工している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：谷止工 70基，床固工 17基，流路工 1,609.8m，水路工 4,490.4m，暗渠工 8,537.0m ・総事業費：2,301,999千円（平成14年度評価時点：2,435,253千円） 								
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>当事業の主な効果である、山地保全便益（土砂流出防止便益）については、地すべり防止工事を実施して、地すべりによる人家、県道・市道・林道、農地等への被害を防止する効果であり、算定基礎である人家戸数、道路及び農地には特段の変化は見られない。</p> <p>なお、平成23年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総便益(B)</td> <td style="width: 70%;">8,971,159千円（平成14年度評価時点：3,031,354千円）</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>5,401,474千円（平成14年度評価時点：2,435,253千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>1.66（平成14年度評価時点：1.24）</td> </tr> </table>			総便益(B)	8,971,159千円（平成14年度評価時点：3,031,354千円）	総費用(C)	5,401,474千円（平成14年度評価時点：2,435,253千円）	分析結果(B/C)	1.66（平成14年度評価時点：1.24）
総便益(B)	8,971,159千円（平成14年度評価時点：3,031,354千円）								
総費用(C)	5,401,474千円（平成14年度評価時点：2,435,253千円）								
分析結果(B/C)	1.66（平成14年度評価時点：1.24）								
事業効果の発現状況	<p>当事業により施工した暗渠工により、地すべりの原因となっている地下水が排除され、地すべり活動が抑制されたことにより、人家、農地、県道、市道等の安全が確保されている。</p>								
事業により整備された施設の管理状況	<p>当事業により整備した水路工、暗渠工等の治山施設については、千葉県が定期的に点検を行い、必要に応じ水路等の補修を実施して適切に管理している。</p> <p>また、豪雨等により地すべりの発生の恐れがある場合は、巡回による点検を適宜行っている。</p>								
事業実施による環境の変化	<p>当事業により施工した溪間工により、溪岸浸食の防止が図られ植生が回復している。</p>								

<p>社会経済情勢の変化</p>	<p>下流の集落、道路の交通、農業生産活動等に特段の変化はない。また、富津市と鋸南町を結ぶ県道上畑湊線や市道は地域の重要なライフラインとなっており農地では米、花等の生産が行われている。当事業の実施により、これら保全対象の安全が確保されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な保全対象：人家16戸、農地64ha、道路5.4km
<p>今後の課題等</p>	<p>当事業で施工した水路工、暗渠工等の治山施設については、機能・効果に問題なく地すべりは抑制された状態にあり、改善措置等の必要性は見られない。今後とも、定期的な点検等を実施して適切な維持管理に努めていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見： 現地調査等の際に、地元住民から「工事を実施したことにより災害への心配が減った。」等の意見をいただいている。
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本防止区域内には多数の地すべりブロックが存在し、地すべり活動が活発で市道、耕作地等の被害が発生しており、そのままでは被害の拡大が懸念されていたことから事業の必要性が認められる。 ・効率性： 地すべり防止工事の計画に当たっては、水路工、暗渠工等現地に合った最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、事業実施に当たってはコスト縮減を図り総事業費の削減に努めたことから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 地すべり防止工事の実施により、地すべり活動が抑制され人家、県道、農地等への被害が発生していないことから、事業の有効性が認められる。

整理番号

6

便 益 集 計 表 (治 山 事 業)

事業名：地すべり防止

千葉県

施行箇所：下沢

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
山地保全便益	土砂流出防止便益	8,970,817	
	土砂崩壊防止便益	342	
総 便 益 (B)		8,971,159	
総 費 用 (C)		5,401,474	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{8,971,159}{5,401,474} = 1.66$		

評価箇所概要図

整理番号	6
------	---

千葉県

事業名	民有林補助治山事業(地すべり防止)	地区名	下沢
-----	-------------------	-----	----

